

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】平成 17 年 4 月 7 日 (2005.4.7)

【公開番号】特開 2001-275974 (P2001-275974A)
【公開日】平成 13 年 10 月 9 日 (2001.10.9)
【出願番号】特願 2000-94739 (P2000-94739)
【国際特許分類第 7 版】
A 6 1 B 3/10
A 6 1 B 3/09
【F I】
A 6 1 B 3/10 M
A 6 1 B 3/09

【手続補正書】
【提出日】平成 16 年 4 月 26 日 (2004.4.26)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

屈折力分布測定用光束を眼底に向けて投光する投光光学系と眼底からの反射光束を検出する検出光学系と該検出光学系の検出結果に基づいて被検眼の角膜各部での眼屈折力を演算する演算手段とを持つ眼科装置において、呈示距離を変えた視標を被検眼に呈示する視標呈示手段と、異なる呈示距離での眼屈折力分布データから両者の差を演算する屈折力演算手段と、該屈折力演算手段による演算結果を表示する表示手段と、を備えることを特徴とする眼科装置。

【請求項 2】
請求項 1 の眼科装置において、前記表示手段は演算結果を所定ステップの屈折力差で、色分けして表示するカラーマッピング装置または 3 次元表示する 3 次元表示装置であることを特徴とする眼科装置。

【請求項 3】
被検眼に視標の呈示距離を変えて呈示することによって求められた異なる 2 つの呈示距離での眼屈折力分布データを入力する入力手段と、該入力手段によって入力された異なる呈示距離での眼屈折力分布データから両者の差を演算する屈折力演算手段と、該屈折力演算手段による演算結果を表示する表示手段と、を備えることを特徴とする眼科装置。

【手続補正 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0006
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0006】

(1) 屈折力分布測定用光束を眼底に向けて投光する投光光学系と眼底からの反射光束を検出する検出光学系と該検出光学系の検出結果に基づいて被検眼の角膜各部での眼屈折力を演算する演算手段とを持つ眼科装置において、呈示距離を変えた視標を被検眼に呈示する視標呈示手段と、異なる呈示距離での眼屈折力分布データから両者の差を演算する屈折力演算手段と、該屈折力演算手段による演算結果を表示する表示手段と、を備えることを特徴とする。

(2) (1) の眼科装置において、前記表示手段は演算結果を所定ステップの屈折力差で、色分けして表示するカラーマッピング装置または 3 次元表示する 3 次元表示装置であることを特徴とする。

(3) 被検眼に視標の呈示距離を変えて呈示することによって求められた異なる 2 つの呈示距離での眼屈折力分布データを入力する入力手段と、該入力手段によって入力された異なる呈示距離での眼屈折力分布データから両者の差を演算する屈折力演算手段と、該屈折力演算手段による演算結果を表示する表示手段と、を備えることを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】削除

【補正の内容】